

公益財団法人ひろしまドナーバンク

平成26年度事業実施報告書

本年度は、特別な寄附を頂戴するほか、「社会貢献自販機」を含めて多くの寄附金を頂戴いたしました。しかしながら、献眼数減による「あっせん事業収入」の低迷で収入減となり、さらなる財政強化と事務費圧縮に尽力し、運営並びに活動に取り組んで参りました。

献眼に関しましては、献眼推進運動へのため献眼に係る研修会を2回開催し協力を頂きましたが、献眼数は16件と、ここ5年間献眼目標を大きく下回る事となりました。但し、この傾向は全国的でも同様の状況となっています。そのほか、4年間行っていなかった角膜移植希望待機患者の実態を改めて調査し、角膜移植手術実施医療機関と待機患者への確認を行った結果、手術済み、取消により113名が登録解除となりました。

また、骨髄ドナー登録者においても、本県同様、全国的にも3年連続して略対前年比8千人減少しており、相変わらず登録者の伸び悩みの状況が続いております。広く一般県民への理解と協力を得る活動が更に求められ、登録会の回数を増やすことや、「広島国際大学しずく」のメンバーを全国推進会議へ派遣するほか、骨髄連絡協議会を開催し説明員との協力体制の強化に取り組ましました。

献腎を含めた臓器提供に関しては、本県および全国において、件数は一昨年と比べあまり変化がない状況です。従来通りの活動に加えて臓器提供・移植に関する普及啓発活動として、バナーやチラシを作成し活動を行うほか、出前講座への取り組み強化とNPO広島県腎友会が主催した市民公開講座への協力を行いました。一般県民や医療関係者に対して、移植医療に関する正しい情報と理解を促進するための臓器移植推進委員会を設置し、広島県行政や院内コーディネーターの協力のもと、密接な連携を図りながら臓器移植推進に取り組ましました。

本年度は次のような具体的な活動を行いました。

I. 管理部門

バンクの事業を将来に亘って継続して実践するためには、活動資金の確保は不可欠のため、従来同様ライオンズクラブ等の支援団体からの寄附金及び眼科医療機関等に設置して頂いている募金箱からの浄財のほか、「ひろしまドナーバンク支援自販機」の設置による寄附金の拡充に取り組み、新たに「松村循環器・外科医院」に1台設置した。

その他、高額寄附者には感謝状を贈呈した。

1. 一般寄付金 10,548,824円

ライオンズクラブ国際協会336-C地区 様	3,000,000円
社会貢献自販機(下記内訳のとおり21台分)	2,955,574円
山代浩人様	2,000,000円
平田敏夫様	1,000,000円
中国電力労働組合 様	1,000,000円
新谷君子様	200,000円
地域デザイン研究所(自動販売機)	150,000円
広島市医師会(チャリティゴルフ大会) 様	68,000円
社会貢献自販機(紙コップ)	64,872円
広島鉄道病院 様	42,925円
広銀ボランティア口座(63件)	20,453円
佐々木久代様	20,000円
匿名	16,000円
坂井進様	5,000円
白根悦子様	3,000円
藤原朋子様	3,000円

○社会貢献自販機による寄附金 2,955,574円

設置場所	台数	金額
広島医師会館(外・3階)	2台	65,424
広島大学病院敷地内 (第3中央診療棟・広仁会館・霞体育館・喫煙所)	4台	1,450,236
広島スカイクリニック	1台	45,897
※株式会社ニシキタクシー	1台	99,594
J A広島総合病院	1台	11,268

中国労災病院	1台	395,044
ペットショップ高山	1台	9,292
★木村眼科内科病院（外来受付・従業員用・食堂）	3台	368,276
三次中央病院	1台	66,662
★つまもと眼科	1台	35,787
安佐医師会館	1台	4,315
安田病院	1台	138,492
荒木脳神経外科病院	1台	20,487
大成建設（広島医師会館現場）	1台	154,010
二階堂眼科	1台	90,442
松村循環器外科	1台	348
合 計	22台	2,955,574

注）※印は通常の自販機、★印はアイバンク仕様の自販機、それ以外の自販機は臓器用のネットワーク仕様のもの

2. 募金箱（31施設）

730,507円

施設名	金額	施設名	金額
しみず眼科医院	78,241	山代眼科医院	15,990
高山眼科	43,678	藤井眼科	15,955
土谷総合病院	42,017	小島病院	15,934
井之川眼科医院	41,515	平田眼科（熊野）	14,920
かたぎり眼科	41,072	岡田眼科医院	14,200
石田眼科医院	39,588	本郷中央病院 眼科	14,098
竹田眼科医院	38,734	阿品土谷総合病院	13,321
藤武眼科	37,109	海田市・岸本眼科	11,741
木村眼科内科病院	35,187	たんきょう眼科	11,248
井上眼科医院	31,794	奈良井眼科	9,609
ひとみ眼科	29,131	ゆあさ眼科	9,156
森本医院	26,330	山地内科医院	7,913
みはら眼科	22,791	ひらた眼科	6,107
備北眼科	20,774	木阪クリニック	4,448
つるが眼科	18,606	尾道クリニック	1,445
眼科日山医院	17,855	合 計	730,507

3. 賛助会員 3, 042, 000円

法人会員 165口 (1, 650, 000円)

個人会員 464口 (1, 392, 000円)

II. 事業部門

1. 献眼移植のあっせん事業

1) 角膜提供者の募集及び登録に関する事業 (定款第4条第1号)

- ① 原則として献眼が本人の生前の意思表示を背景に行われることから、本年度も例年同様献眼についての啓発・普及用のポスター、パンフレット及び献眼申込書（登録用ハガキ）を購入或いは作成し、広島県、市町、ライオンズクラブ、広島県眼科医会、角膜移植手術実施医療機関等を通じて県民への頒布を依頼し、献眼登録者の確保を通じての献眼推進運動を展開した。

◎ポスター 献眼 300部購入（日本アイバンク協会）

◎パンフレット（献眼）10,000部作成

◎献眼登録申込書 20,000部作成

- ② 各地のライオンズクラブが実施する献眼推進運動にパネル、幟の貸し出しなどを行った。

◎パネル利用状況 角膜 10回 腎臓 1回

廿日市 LC(4/4~7)、呉 LC(4/10~13)、呉ブルー LC(4/14~18)、
呉うるめ LC(4/28~30)、廿日市 LC(7/11~14)、目の健康講座(9/7)、
竹原 LC(9/19~22)、三原浮城 LC(10/31~11/4)、
北広島大朝 LC(10/31~11/4)、呉安浦 LC(11/14~17)、

◎のぼり利用状況 5回

呉 LC(4/10~13)、呉ブルー LC(4/14~18)、呉うるめ LC(4/28~30)、
福山久松 LC(5/16~19)、加計 LC(5/23~26)、

- ③ ライオンズクラブ会員に更なる献眼推進運動への理解と協力を得るため「献眼に係る研修会」を東部、西部の2回開催した。

ア 献眼に係る研修会

日 時：平成26年10月23日（木）午後2時～

場 所：まなびの館 ローズコム 4階 中会議室

出席者：74名

イ 献眼に係る研修会

日 時：平成26年10月30日（木）午後2時～

場 所：広島医師会館 3階 健康教育室

出席者：80名

- ④ 広島県眼科医会主催の「目の健康講座」に参加し、パネル展を開催し、今回初めてスライドを使用し献眼についての情報提供を行い啓発に努めた。

「目の健康講座」（9/7）

2) 角膜移植希望者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第2号）

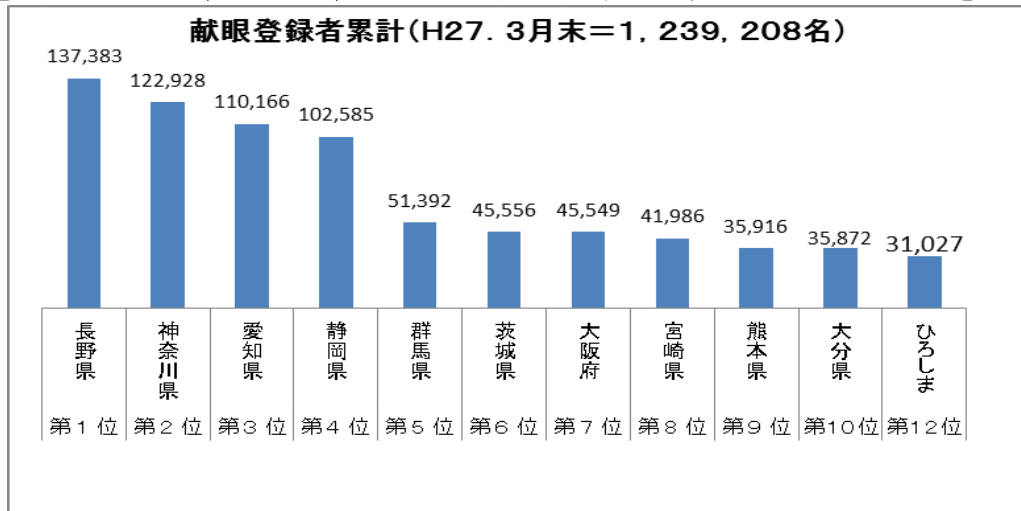
角膜移植希望者の募集は、従来どおり角膜移植手術実施医療機関に受付窓口を設置し、角膜の障害による患者からの募集登録を行った。本年度も登録及び管理業務は直接バンクが担当した。

そのほか、4年間行っていなかった角膜移植希望待機患者の実態を改めて調査し、角膜移植手術実施医療機関と待機患者への確認を行った結果、手術済み、取消、死亡により113名が登録解除となった。

献眼登録者 31,027名（202名増）

前年度末登録者数	30,825名
新規登録者数	403名
献眼者数	16名
取消数（転出・死亡等）	185名
3月末登録者数	31,027名

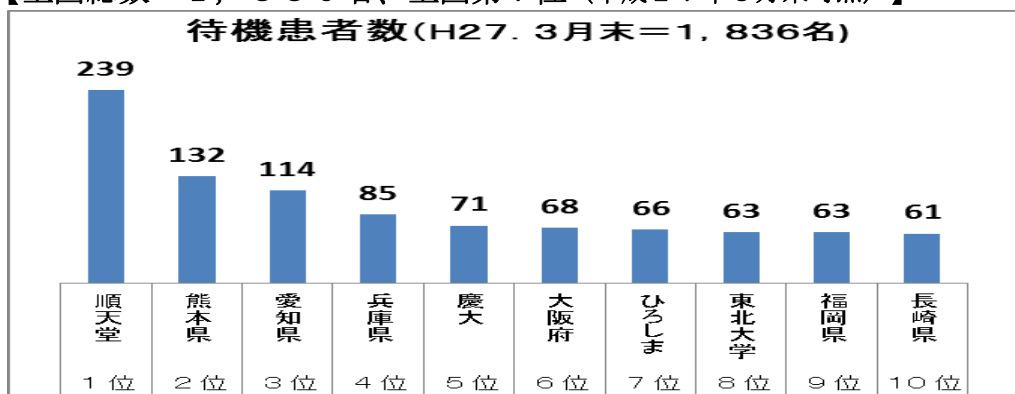
【全国総数＝1,238,732名、全国第12位（平成27年3月）】



広島県の角膜移植希望者 66名（66眼）－（111名・115眼減）

前年度末 手術希望者数	177名（181眼）
新規 手術希望者数	40名（40眼）
移植角膜数	29名（29眼）
希望取消数	122名（126眼）
3月末 手術希望者数累計	66名（66眼）

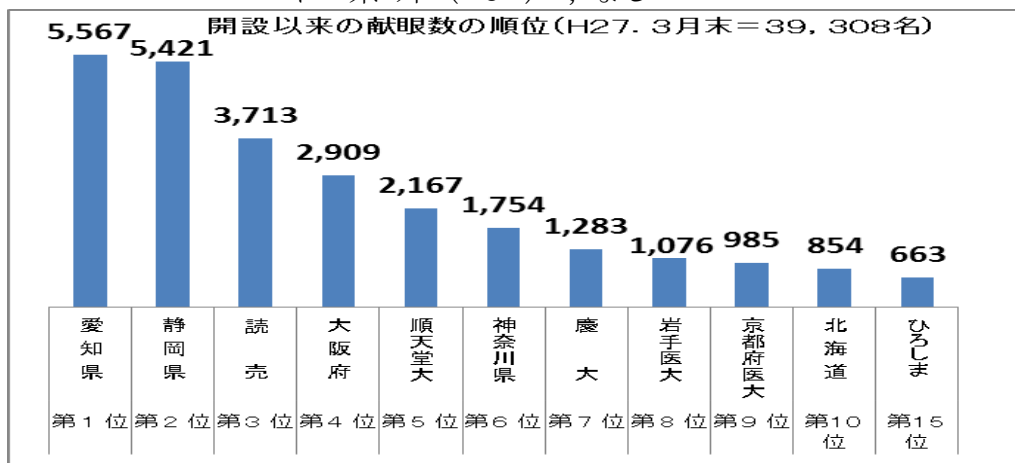
【全国総数＝1,836名、全国第7位（平成27年3月末時点）】



3) 摘出角膜のあっせん及び保存に関する事業 (定款第4条第4号)

現在までにご提供頂いた角膜は次のとおりで、保存眼を含み県内2施設にあっせんした。

- ①献眼数 16名 32眼（保存眼等9眼）
- ②あっせん数 29眼（前年度保存眼6眼、県外0眼）
- ③あっせん先 ア 県内（29）；広島大学病院（16）
木村眼科内科病院（13）
- イ 県外（0）；なし



◆全国及び中四国地方の献眼状況】

献眼者数	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
全 国	1,009	891	927	880
鳥 取 県	3	2	1	1
島 根 県	2	8	9	5
岡 山 県	3	8	3	1
広 島 県	22	17	19	16
山 口 県	5	14	20	16
徳 島 県	6	1	3	3
香 川 県	8	8	1	3
愛 媛 県	8	3	3	9
高 知 県	5	2	4	2

4) 献眼・献腎を含め臓器提供者への敬弔

献眼及び献腎等臓器を提供された方に対して、ご葬儀等の席上などにおいてホストライオンズクラブを通じて感謝状の贈呈を行い、敬意を表するとともに、弔電、花輪或いは香典をお供えして弔意を表明した。

また、同様の方法により厚生労働大臣の感謝状に供物を添えて遺族に伝達した。

- ①献眼者 16名(厚労大臣感謝状伝達14名、辞退1名)
- ②献腎者(含む脳死提供) 3名(// 2名、辞退1名)

2. 移植医療の推進に関する普及啓発事業

1) 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業(定款第4条第3号)

献眼に係る啓発活動については、主として「献眼のあっせん事業」において実践し、その他の臓器等に対する一般県民に対する普及啓発活動をこの事業の中で実施した。

①一般県民に対する普及啓発活動

ア パネル等啓発グッズの作成とその貸し出し等を行った。

広島県臓器移植コーディネーターが地域の健康祭り等にパネル等啓発グッズの貸し出しとともに、自ら出向き臓器提供・移植に関する啓発活動に従事した。 5回

終活講演会(8/31)、おのみち市民健康まつり(9/9)、

府中市民健康福祉まつり(10/4)、
健康ふくやま21フェスティバル(10/19)、
大竹ふれあい健康福祉まつり(10/26)

イ 出前講座により、広島県臓器移植コーディネーター等が、臓器提供・移植に関する説明を行い、移植医療の普及啓発を行った。5回
呉共済病院看護専門学校(1/29)、広島市医師会看護専門学校(3/2)
皆実高校技術生看護科(3/3)、皆実高校専攻科(3/9)
尾道市立因北中学校(3/10)

ウ 厚生労働大臣及び広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦を行い、社会にその業績を披露した。当バンク以外からの推薦として、広島大学救急医学の谷川 攻一教授と津村 龍助教、広島赤十字・原爆病院小児血液疾患対策室長の藤田 直人先生も受賞された。

i 「臓器移植対策推進功労者」(厚生労働大臣)

戸田 慎三郎 ひろしまドナーバンク常務理事
(戸田眼科的場医院院長)

ii 「臓器移植推進功労者」(広島県知事)

—個人の一部—

○大庭 信 二 呉医療センター・がんセンター

医療技術センター長・脳神経外科長

—団体—

○医療法人社団誠心会 中川医院

○三原浮城ライオンズクラブ

エ その他の啓発活動

i 献眼及び臓器提供・移植に関する社会貢献自販機を積極的に設置して頂くことにより、ポスター的な意味合いでの移植医療の普及啓発を行い、「松村循環器・外科医院」に1台設置した。

ii マスコミを通じての普及啓発活動も実施した。

特に広島県臓器移植コーディネーター等が、マスコミからの取材、テレビ新広島(TSS)には、臓器移植に関する放送などの取材訪問を受けた。そのほか、移植医療に関する放送の際には、広島県臓器移植コーディネーターが説明(図解も含めて)や資料提供を行い、必要な助言を行った。

◎テレビ新広島（TSS）

○平成26年 7月 8日

子育て中のママたちが移植コーディネーター山本さんから移植医療について学ぶ

○平成26年10月 6日

骨髄バンク登録キャンペーン（イオンモール広島府中）

◎読売新聞

○平成26年10月 6日

骨髄バンク普及推進月間行事（イオンモール広島府中）

②啓発用のポスター及びパンフレット等の作成及び配布

公社）日本臓器移植ネットワーク並びに公財）日本骨髄バンクから提供を受けたポスター、パンフレット等の配布や、新たにタクシー会社、観光バスに貼付するステッカーの配布により啓発活動を展開した。

ア 「臓器提供意思表示カード」の配布 445部

イ 「グリーンリボンドライバーステッカー」の配布 150枚

ウ 移植医療に関する啓発グッズの改訂或いは作成して関係方面に配布するほか、一部手製の献眼並びに骨髄ドナー登録に関するチラシをイベント等で活用して頂くために、データ資料を作成し提供した。

③普及啓発行事の開催・参加

10月の臓器移植普及啓発月間において、NPO法人広島県腎友会が主催する街頭キャンペーン等に助成を行うほか、骨髄バンク普及推進月間行事では、ボランティア団体との連携の中で、移植医療の推進に係る活動を展開した。

ア 例年同様、広島県及び広島市などとともに「イオンモール広島府中」の協力のもと「骨髄パネル展」を開催し、最終日には骨髄ドナー登録会を実施した。

○と き：平成26年 9月29日（月）～10月 7日（日）

○ところ：イオンモール広島府中 1階 ムーンギャラリー

○内 容：パネル展、風船及びチラシを挟んだティッシュの配布、
集団登録会（新規登録者48名）

2) 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業
(定款第4条第7号)

本事業のうち、特に造血幹細胞移植の推進のため、広島県骨髄データセンター（広島県赤十字血液センター）、広島県、広島市と患者家族の会「つ

ばさの会」「がんと子供を守る会」「広島国際大学骨髄バンク推進委員会『しずく』」などボランティア団体との連携を基本とし、骨髄ドナー登録者の確保事業に取り組んだ。

① 説明員養成研修会並びに実施研修会を開催し、新たに9名の方に説明員の資格を取得して頂き、今後の活動に関する説明を行った。4回

ア 養成研修会 (5/21)

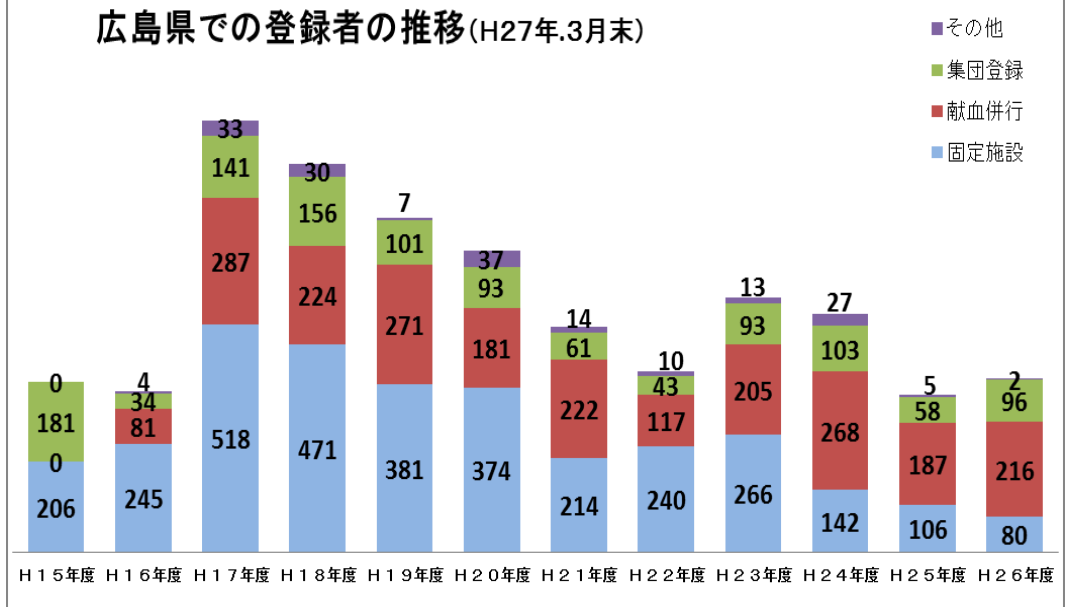
イ 実地研修会 (7/13、8/11、11/1)

②骨髄ドナー登録者の確保対策への協力

公財) 日本骨髄バンク等が主体として、実施する骨髄ドナー登録者の確保のため、骨髄ドナー登録会を開催した。

登 録 会		回 数	登 録 者	今後の予定
事 前 説 明 会	昨年度	1 回	1 0 名	
	本年度	0 回	0 名	
集 団 登 録 会	昨年度	5 回	5 8 名	
	本年度	5 回	9 6 名	
献 血 併 行 型 登 録 会	昨年度	2 5 回	1 8 7 名	
	本年度	2 9 回	2 1 6 名	
合 計	昨年度	3 1 回	2 5 5 名	
	本年度	3 4 回	3 1 2 名	

広島県での登録者の推移(H27年.3月末)



③骨髄提供・移植に関する普及啓発活動を行った。

ア 出前講座の実施

説明員等が個人的に実施している活動に加えて、骨髄バンク普及推進月間事業での活動に資金援助を行った。

○比治山大学(6/18)

イ 連絡協議会の開催

○ 骨髄連絡協議会 (12/16)

ウ 広島国際大学骨髄バンク推進委員会「しずく」の活動の充実のため、全国セミナーに2名の学生を派遣した。

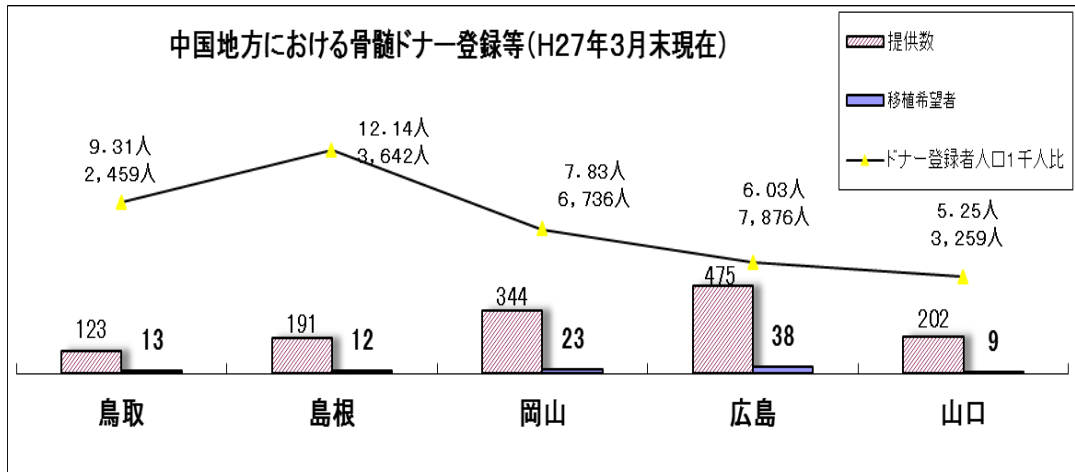
○骨髄バンク推進全国大会(9/13)

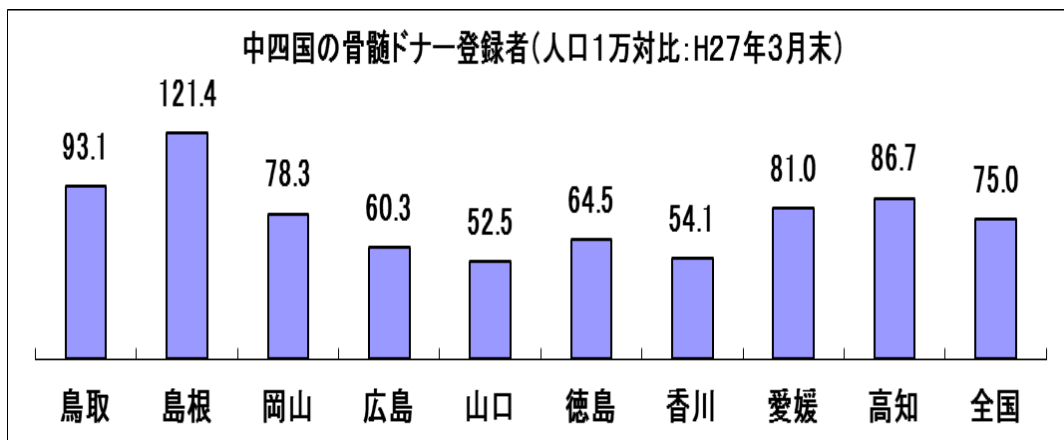
◆骨髄ドナー登録者（平成27年3月末現在） 新規登録者312名

区分	全 国	広 島 県	
		実 数	人口1万対比
ドナー登録者数	450,597 (75.0)	7,876 (全国第18位)	60.3 (全国第29位)
患者登録者数	2,758 (国内1,426)	38 (全国第11位)	
骨髄移植者数 (財団発足後累計)	17,821 (国内)	524 (全国第10位)	
骨髄提供者数 (財団発足後累計)	17,888 (国内)	475 (全国第12位)	

注) 提供者と移植者との数字の違いは移植に至らなかった件数があるため

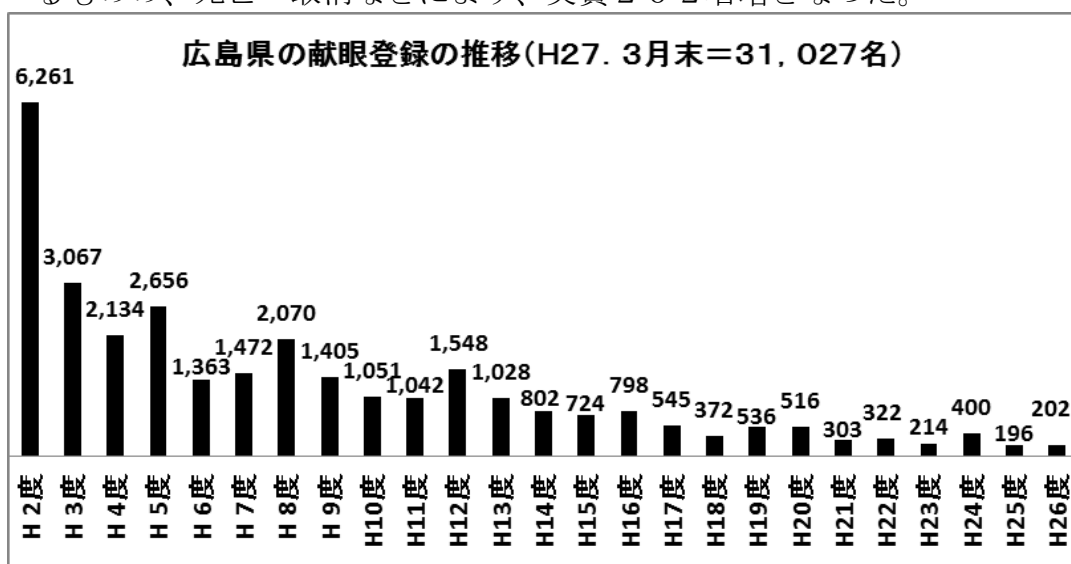
◆全国及び中四国地方との比較





3) 献眼登録者の登録業務

ライオンズクラブ等が実施した献眼推進運動により送られてきた「献眼登録申込書」について、記載不備などの確認の後、登録後当該申込者に「献眼登録カード」を送付した。平成26年度の新規登録者は、403名であるものの、死亡・取消などにより、実質202名増となった。



3. 移植医療推進のための医療施設における院内体制の整備等に関する支援事業

① 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業 (定款第4条第7号)

ア 献腎及び多臓器移植の推進

円滑な臓器提供が図られるためには、一般県民の臓器移植に関わる意

識の醸成と同時に、医師・看護師等医療関係者の理解と協力が不可欠であることから、医療関係者に対する移植医療に関する正しい理解を促進する活動を行うため、広島県行政や各病院の院内コーディネーターと共に、密接な連携を図りながら臓器移植推進に取り組んだ。

特に、福田康彦評議員を委員長とした臓器移植推進委員会を設立し、移植医師、脳外科医師、救急医師で構成された委員が、臓器移植コーディネーターの活動推進に協力し、臓器移植医療の今後の方針や対策を検討、普及啓発の推進に取り組むために、院内コーディネーターを設置している医療機関へのアンケート調査を行った。

そのほかバナーやチラシを作成し、出前講座への取り組み強化など普及啓発活動を行った。

◆ 献腎登録者 9, 114名 (33名減)

前年度末登録者数	9, 147名
新規登録者数	3名
献腎者数	3名
取消数(転出・死亡等)	33名
3月末登録者数	9, 114名

イ 救命救急センターなどの臓器提供施設等への訪問

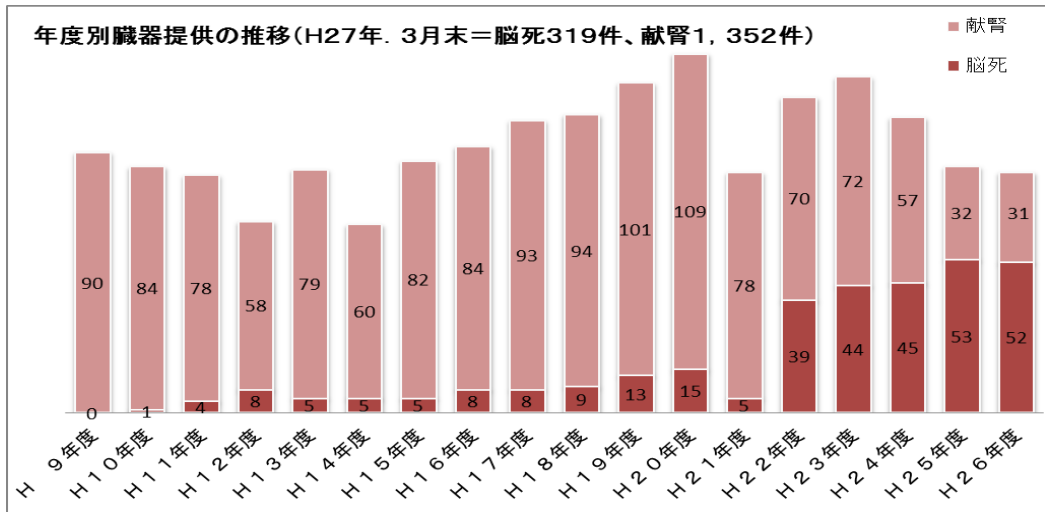
広島県臓器移植コーディネーターが臓器提供施設等を定期的に訪問し、ドナー情報の収集を図り、具体的な臓器提供情報を得た際には提供に向けての必要な対応に従事した。

i 訪問施設 23施設

広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院、マツダ病院、広島赤十字・原爆病院、安佐市民病院、梶川病院、荒木脳神経外科病院、一ノ瀬病院、呉医療センター、呉共済病院、中国労災病院、福山市民病院、大田記念病院、尾道市民病院、尾道総合病院、広島総合病院、東広島医療センター、市立三次中央病院、寺岡記念病院、興生総合病院、五日市記念病院、土谷総合病院

- ii 訪問総数 68回
- iii 情報提供数 14件
- iv 臓器提供数(献腎を含む) 3件
- v 献腎移植 2件

◆全国の脳死下臓器提供及び献腎の推移（平成27年3月末）



◆全国及び中四国地方での臓器提供数等（平成27年3月末まで）

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		献腎待機患者数 (H27.1.5)
	献腎	脳死	献腎	脳死	献腎	脳死	献腎	脳死	
全国	44		45		53		52		12,725
鳥取県	0	1	0	0	0	0	1	0	39
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	38
岡山県	0	0	2	0	1	1	1	0	178
広島県	1	1	1	1	2	1	2	1	282
山口県	0	0	3	0	1	1	1	0	104
徳島県	0	1	1	1	0	0	0	0	82
香川県	0	1	3	2	0	1	0	0	140
愛媛県	1	1	0	0	0	0	0	1	104
高知県	0	2	1	0	0	1	0	0	56
中四国計	2	7	11	4	4	5	5	2	1,023

ウ 臓器提供に関する関係者の連絡協議会等の開催及び参加

- i 広島県臓器提供施設協議会(10/8) 1回
- ii 院内コーディネーター研修会(7/8) (2/13) 2回

エ 院内コーディネーターとともに院内関係者への啓発活動

- i 院内研修会・勉強会への支援・協力
- ii 臓器提供マニュアル作成、臓器提供シミュレーション実施への協力
- iii 病院機能評価に係る臓器提供に関する説明 ほか

オ コーディネーター研修会への参加

広島県臓器移植コーディネーター(公社)日本臓器移植ネットワーク及び移植学会等が主催する研修会、学会等に参加し、最新の移植情報の収集と資質の向上に努めた。

また、本年度の新たな事業として、院内コーディネーターの技能向上のために、本人の申請のもと3名を関連の研修会に派遣した。

- | | |
|----------------------------|----|
| i 日本臓器移植ネットワーク主催等の研修会 | 3回 |
| ii 中国四国コーディネーター会議 | 4回 |
| iii 脳死・脳蘇生学会、中国四国臨床臓器移植研究会 | 2回 |

カ 献腎を含めた臓器提供事例が発生した場合の業務

県内で臓器提供事例が発生した場合には、広島県臓器移植コーディネーターが中心となって、(公社)日本臓器移植ネットワークの指導のもと、院内コーディネーターとともにスムーズな提供に資するため、次のような業務に従事した。

- i 臓器提供可能者家族への移植医療の意義等についての説明に従事。
- ii 院外の摘出チーム及び移植チーム、県警、児童相談所等との調整に従事。
- iii 摘出腎臓の搬送業務に従事。
- iv 臓器提供に協力した施設及びドナー家族への事後報告及び移植者の経過報告等の実施。

キ 腎移植希望者の登録及び更新受付業務への協力

献腎移植希望者の登録等については、(公社)日本臓器移植ネットワークにおいて行うこととされているが、当バンクとしても広島県臓器移植コーディネーターの業務の中で必要な協力を行った。

2) 移植医療機関及び摘出協力医との連絡調整に関する事業

(定款第4条第5号)

広島県臓器移植コーディネーター、骨髄説明員及び事務職員が個別に移植医療機関或いは摘出協力医師等との連絡調整を行った。

- (1) 角膜移植希望者の登録に関する打ち合わせ
- (2) 臓器移植医及び臓器提供医との委員会設立に関する打ち合わせ
- (3) 臓器提供施設への移植医療推進のための打合せ